

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●戸崎圭太騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

1月20日(土)の1回中山6日・第5レースでリヤンドゥミラクルに騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、この騎乗で史上52人目・現役33人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●リチャード・キングスコート騎手がJRA初勝利をあげる

1月21日(日)の1回中山7日・第5レースではカムフライが1着となり、同馬に騎乗したリチャード・キングスコート騎手(イギリス)はJRA初勝利(33戦目)をあげました。

### ●イクイノックスがワールドベストレースホースを受賞

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から発表された『2023年度ロンジンワールドベストレースホースランキング(単位はポンド)』では、凱旋門賞馬エースインパクトやプリンスオブウェールズS完勝のモスターダブ(ともに128)を抑えてイクイノックスがランキングトップ(135)となり、日本調教馬の最高レーティングであるエルコンドルパサーの134を更新するとともに、ロンジンワールドベストレースホースを受賞しました。また『2023年世界のトップ100 G I 競走』では、ジャパンカップ(レースレーティング126.75)が日本の競走としては初めてロンジンワールドベストレースを受賞したほか、計15競走が100位以内にランクイン。これはオーストラリア(24競走)、アメリカおよびイギリス(17競走)に続く国別第4位となります。

### ●2023年度JPNサラブレッドランキング発表

JRAハンデキャッパーとNARレーティング担当者の協議により決定した『2023年度JPNサラブレッドランキング(単位はポンド)』が発表されました。各部門・牡牝のトップは、2歳がジャンタルマンタル(115)とアスコリピチェーノおよびレガレイラ(113)、3歳芝がドゥレットツァ(120)とリバティアイランド(121)、3歳ダートがデルマツトガケ(120)とライオットガール(105)、4歳以上芝がイクイノックス(135)とスターズオンアース(119)、4歳以上ダートがウシュパテソーロ(122)とアイコンテラー(111)となっています。

### ●テオーケインズらの競走馬登録抹消

2021年チャンピオンズカップ(G I)などの勝ち馬テオーケインズ(牡6歳/栗東・高柳大輔厩舎/JRA通算15戦8勝・地方8戦2勝・海外2戦0勝)、2022年アイルランドトロフィー府中牝馬S(G II)の勝ち馬イズジョーノキセキ(牝6歳/栗東・中村直也厩舎/JRA通算30戦5勝)、2022年マーメイドS(G III)の勝ち馬ウインマイティー(牝6歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算23戦4勝)は、2023年12月8日(金)付で競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。テオーケインズは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、イズジョーノキセキは新ひだか町・沖田哲夫氏の牧場、ウインマイティーは新冠町のコスモビューファームでそれぞれ繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●全日本新人王争覇戦(高知)は愛知の細川智史騎手が優勝

1月23日に高知で2レースのポイント制で争われた全日本新人王争覇戦は、1、8着という成績の細川智史騎手(愛知)が総合優勝を果たしました。佐々木大輔騎手(美浦)は2、6着で第3位、鷲頭虎太騎手(栗東)は8、2着で第4位、田口貫太騎手(栗東)は3、7着で第6位、西塚洸二騎手(美浦)は4、11着で第9位でした。

### ●花吹雪賞(佐賀)は高知のグライндаウト【各地の主要3歳重賞】

花吹雪賞(1月21日、佐賀、1800<sup>円</sup>、牝馬)は、3番手から2周目3コーナー手前で抜け出した3番人気の高知からの遠征馬グライндаウト(父アメリカンペイトリオット)が8馬身差で圧勝しました。新設の佐賀デビュー馬限定戦、佐賀若駒賞(1月6日、佐賀、1750<sup>円</sup>)は、逃げた単勝1.2倍で圧倒的人気のトゥールリー(牡、父ダノンレジェンド)が2馬身半差の完勝を収め、九州ジュニアチャンピオンに次ぐ重賞勝ち。ニューイヤーC(1月10日、浦和、1500<sup>円</sup>)は、2番手を進んだ2番人気のギガース(牡、父マジスティックウォリアー)が残り100<sup>円</sup>標識の手前で逃げ馬を捉えて優勝。新春ペガサスC(1月16日、名古屋、1700<sup>円</sup>)は、中団から差を詰めたミトノユニヴァース(牡、父ロジユニヴァース)が4コーナーで先頭に立って押し切り、単勝1.9倍の支持に応じて3度目の重賞制覇を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1香スチュワーズC~ヴォイッジバブルがG1初制覇

現地1月21日に香港のシャティン競馬場で行われたG1香スチュワーズC(3歳上、芝1600<sup>米</sup>)は、J.マクドナルド騎手が手綱を取ったヴォイッジバブル(騾5歳、父ディープフィールド、P.イウ厩舎)が先行策から直線で抜け出して優勝しました。1馬身1/4差の2着に昨年11月のG2香ジョッキークラブマイル勝ち馬ビューティーエターナル。勝ったヴォイッジバブルは昨シーズンの4歳クラシックシリーズ全3戦の内、香港ダービー(芝2000<sup>米</sup>)と香港クラシックマイル(芝1600<sup>米</sup>)を制覇。今シーズンは始動戦となった香ジョッキークラブマイルがビューティーエターナルの3着、続く前走12月のG1香港マイルはゴールデンシックスティの2着でしたが、ゴールデンシックスティが脚部不安で不在となったことで単勝1.9倍の1番人気に応えてのG1初制覇となりました。